

大学

アーカイブズ

東日本大学史連絡協議会会報

1993. 9. 30 No. 9

Association of College and University
Archives of Eastern Japan

目 次

| | | |
|--------------------------|------|----|
| 『立正大学の120年』編纂について | 安中尚史 | 1 |
| 大学史編纂と年報 | | |
| —『東京大学年報』の復刻の紹介— | 中野 実 | 3 |
| 1993年度総会議事録（抄） | | 4 |
| 常任委員会議事録（抄） | | 4 |
| 研究部会記録（抄） | | 4 |
| 「大学史」編纂・資料保存等に関するアンケート結果 | 5 | |
| 東日本大学史連絡協議会規約 | | 13 |
| 東日本大学史連絡協議会会員名簿 | | 14 |
| ミニ情報 | | 16 |
| ご案内 | | 16 |

1993年7月7日(水) 研究部会

『立正大学の120年』編纂について

立正大学大学史編纂室 安 中 尚 史

7月7日、第25回研究部会が品川区大崎の立正大学において開催された。当日の参加は22大学、38名を数えた。

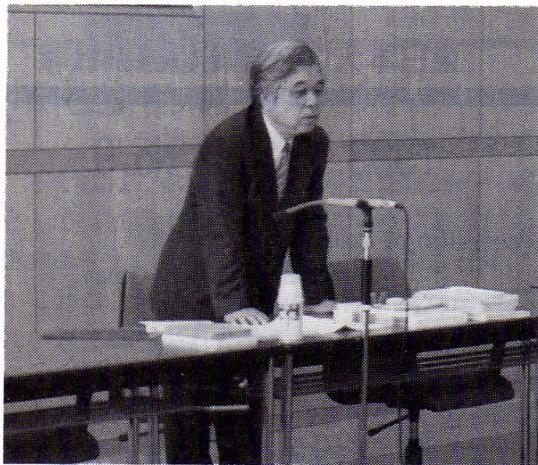
今回の研究部会は昨年、開校120年を迎えた立正大学が、その記念事業の一環として出版した『立正大学の120年』の編纂経過と、大学史編纂組織について、大学史編纂委員会委員長の白井忠功文学部教授（国文学科）から次のような報告がされた。

立正大学においては、大学史の発行は過去数回にわたって計画されたが、諸般の事情によりその計画は実現しないまま、今回の発行まで延期されてきた。しかしその都度、収集された資料が図書館に保管され、またこの間、各学部で小史等を刊行していた関係から、その発行は比較的容易に考えられていた。



昭和62年、5年後の開校120年の発刊をめざして「立正大学史編纂委員会要領」が定められ、編纂委員会を組織し委員が任命された。その後、委員会に「学園全体の組織や設置学





報告する白井忠功氏

校の歴史について、学園史になるよう配慮されたい」との要望が提起され、各学部・教養部・事務局より選出された委員たちは事態の重大さを再認識したのであった。

当初の計画では立正大学史全4巻（本編1巻・資料編3巻、各巻1000頁）、立正大学略史、図録の3部構成を立案し、編纂室の設置については、当時キャンパス整備が行われていた関係から、なかなか計画通りには進まず、また編纂室のスタッフも決まらないまま時間が経過するばかりであった。しかし学校当局の配慮によって、工事中の狭隘なキャンパス内の一室を編纂室として設置し、平成元年4月から実質的な編纂作業に着手した。

しかし開校120年の記念事業という、時間的な制約がある仕事だけに、この時点できちんと計画の見直しが求められた。残された時間で正史の体裁を整えた立正大学史の発行を無理と判断した学校当局と編纂委員会は、正史を今後の課題とした。そして今回は『立正大学の120年』として、A4判200頁、写真・図表を多用した、ビジュアルな表現を持つものを刊行するとの基本方針がまとまった。編纂委員会はここで時間という大きな壁にぶつかってしまったのであった。

基本的な編集方針が決められてから、目次の作成にとりかかり、次いで執筆委員を構成し執筆を依頼した。またその間、図書館に保管されていた大学史関係の資料を、大学史編纂室に移管し整理を進めた。しかし実際に整理が進められていくうちに、資料の乏しいことが明らかにされていった。

こうしたなかで先にも述べたように、キャンパス整備のための改築工事が行われた関係から、思わず所で資料が見つかったり、学内の各部署から資料や写真が編纂室に移管された。また元・現教職員や卒業生、学外の関係機関から資料が提供・収集され、執筆者の希望に充分こたえられなかったが、一応の体制が整えられた。

執筆者からの原稿締切後は、素原稿の読み合わせを中心とした作業が委員会によって進められた。そしてそれらの作業に、精力的に対応した各委員の意気込みが感じられた。

こうして平成4年1月、印刷所に入稿し、その後の校正、写真の選別、割付等の作業を終え、開校120年記念式典が開催された同年10月、刊行のはこびとなった。実質的な作業開始から3年半後のことであった。



しかし今後に残された課題を考えると、ただ単に完成を喜んでいるばかりではいられなかった。今回の計画で見送られた大学正史の刊行を目指し、資料の収集・保存を目的とした編纂室の充実をより一層はかるべきであるとし、またそのための組織や規定が必要なことを学内に提唱し、そして各方面の協力があつてこそ充実した大学史の刊行が果たせることとして、報告が括られた。

その後、質疑応答の時間が設けられ、現在の大学史編纂業務の実状と今後の展望、また開校年代の設定について質問がでた。

報告終了後、一新したキャンパス内の見学が行われた。その中でも特に、学生の証明書等が自動発行される“RISコーナー”に多くの参加者が関心を示し、説明を興味深く聞き入っていた。

大学史編纂と年報

—『東京大学年報』の復刻の紹介—

立教学院史編纂室 中野 実

大学（学校）史編纂あるいは研究を行うとき、まず手に取られるのは学校沿革史誌類であろう。ついで記述の典拠を求めて史（資）料を読み始める。史料といつてもそれらは多岐にわたっている。大事なのは基本、基幹史料とはいいうものの、その基準は明瞭でいて、その実はよくわからない場合が多い。たとえば、学校の設置や学則の許認可関係の公文書は日本の教育行政を考えれば、基本史料であるといえるが、それで事が足りるわけではない。あまりに骨ばかりで相当な周辺史料で補足しなければ、「作文」の裏にある事情は窺えない。さらにそれらはその都度の史料であって、当然にも学校の全体像は浮かびあがってこない。

基本、基幹史料というものはそれでは皆無かといえば、断じて否である。例えば、大学が発行している一覧、年報類はどうであろうか。これらは当該機関が現況報告として学内外に公表した数少ない史料であり、全体像を提示している。もちろん、一覧、年報類にもさきほどの史料そのものの制約というか、限界はある。しかし機関の年間（年度）の教育研究の実態、恒常的な管理組織、スタッフなどが記された、継続的な唯一の史料として、基本、基幹史料の中に入れられるであろう。

今回、東京大学史史料研究会編により史料叢書東京大学史と銘打ち、東京大学年報が復刻された（東京大学出版会）。コピーを紹介すれば「明治前半期に東京大学の前身機関である官立専門諸学校が作成した『年報』類を原形のまま復刻・刊行。日本の高等教育の発足・形成過程を明らかにする」である。すこし補足しよう。復刻した史料の時期は1873年（明治6）、第一大学区第一番中学から開成学校へと専門学校に改組されてから1897年（明治30）、京都に第2番目の帝国大学が設置されるまでである。東京大学、帝国大学の成立を含むこの時期は、東京大学が工部大学校を

除き唯一の大学であった時期にあたり、日本の帝国大学史の流れから見れば、搖籃期、成立期を経て、確立期にいたる期間である。

さらに今回復刻した史料は、文部省年報に収録されたものから、刊本分、年報稿本（文部省提出用の浄書本の写し）、年報材料（文部省提出用に大学本部が作成した大学全体の年報草稿と各部局から本部に提出された年報類、東京大学所蔵の公文書綴『文部省往復』所収）と、4種類に及ぶ。年報材料はこれまでほとんど閲覧が困難であった史料であり、稿本もまた総合図書館の貴重本扱いのものであった。これらが一挙に復刻されたのである。学校沿革史誌の復刻はこれまでなされて來た。しかし、年報のそれは札幌農学校と工部大学校年報の一冊以外に寡聞にして知らない（ただし市販分。記念事業として復刻されたものに『東京専門学校年報 明治十五年度』がある。）

年報には庶務の概要、規則改廃、人事、教育研究の実況、統計的諸表などから構成されている。これからさまざまな情報を与えてくれる。たとえば、学科課程の編成は当時の専門分野を表現しているし、学則などは学生の修学状況を伝えてくれる。なかでも非常に興味深いのは教育研究の実況がビビットに描かれた教師の「申報」である。申報はもともと一般的には上司の伺いをたてる、報告するという意味であるが、ここでは内外の教師が行った教育研究の実践が記されている。なにをどのようにどこまで教えたのか、教授にはどのような方法を用い、あるいは改善しようとしたか、学生の勉学態度はどうであったか（一々学生を名指しで絶賛する申報もある）、あるいは健康問題など、一つの読み物としても面白いものである。

年報の復刻により、日本の大学史がさらに豊かになることを願っている。

関東地区大学史連絡協議会
1993年度総会議事録（抄）

日 時 1993年5月10日(月)14時～15時
 場 所 中央大学 駿河台記念館 320号室
 出席校 26大学 3個人会員（計44名）
 開会の挨拶 会長校 中央大学 浜松 晃氏
 議長の選出 議 長 日本大学 近沢昭一氏
 副議長 慶應義塾 中森東洋氏
 議 事 1. 1992年度事業報告・同決算報告について（承認）
 2. 1993年度事業計画案・同予算案について（承認）
 3. 規約改正について（承認）
 （規約改正の承認によって、関東地区大学史連絡協議会は、1993年5月11日から東日本大学史連絡協議会へと名称変更することとなつた。）
 4. 役員の選出について（承認）
 ※参考 1993年度役員校
 会 長 校 中央大学
 副会長校 神奈川大学
 東海大学
 常任委員校 國學院大学
 国際基督教大学
 日本大学
 会計委員校 成蹊大学 玉川大学
 監査委員校 日本工業大学
 明治大学
 5. その他
 閉会の挨拶 会長校 中央大学 村松良人氏
 懇親会 15時～16時30分 出席者44名
 常任委員会議事録（抄）
 第34回 1993年4月15日(木)14時～15時30分
 会 場 中央大学 駿河台記念館 500号室
 出席校 神奈川大学 成蹊学園 玉川大学
 中央大学 東海大学 日本工業大学
 日本大学 明治大学
 議 事 (1)1993年度総会の準備について
 (2)その他
 第35回 1993年5月10日(月)13時～14時
 会 場 中央大学 駿河台記念館 320号室
 出席校 神奈川大学 成蹊学園 専修大学

玉川大学 中央大学 東海大学
 日本工業大学 日本大学 明治大学
 議 事 (1) 1993年度総会の準備について
 (2) その他
 第36回 1993年6月3日(木)15時～16時30分
 会 場 日本大学会館 905号会議室
 出席校 神奈川大学 國學院大学
 国際基督教大学 成蹊学園
 玉川大学 中央大学 東海大学
 日本工業大学 日本大学 明治大学
 議 事 (1)1993年度合同研究部会の準備について
 (2)その他
 第37回 1993年7月7日(水)
 13時30分～14時30分
 会 場 立正大学 1号館4階 第7会議室
 出席校 神奈川大学 國學院大学
 国際基督教大学 成蹊学園
 玉川大学 中央大学 日本工業大学
 日本大学 明治大学
 議 事 (1)1993年度の活動計画について
 (2)その他
 第38回 1993年7月21日(木)14時～16時
 会 場 中央大学 駿河台記念館 680号室
 出席校 神奈川大学 國學院大学 玉川大学
 中央大学 東海大学 日本大学
 明治大学
 (1)1993年度合同研究部会について
 研究部会記録（抄）

第25回 1993年7月7日(木)14時30分～17時
 会 場 立正大学 1号館4階 第7会議室
 参加校 22大学 2個人会員 計38名
 報 告 白井忠功氏（立正大学大学史編纂委員会委員長・文学部教授）
 「『立正大学の百二十年』編纂にあたって」
 ※研究部会の内容につきましては、
 本号に掲載した安中氏の論稿をご参照ください。

お知らせ

第27回研究部会は、11月に武藏学園で開催いたします。

「大学史」編纂・資料保存等に関するアンケート結果

東日本大学史連絡協議会常任委員会

(集計・文責 神奈川大学大学資料編纂室 入谷秀夫)

アンケートにご協力いただきました各大学の担当の皆様に感謝申し上げます。

今回のアンケートは、法政大学の提案をもとに1992年11月13日の第31回常任委員会で検討し、1993年1月27日の第32回常任委員会に於て決定したものです。

アンケートの設問内容は、制度・組織面に限定したものになっていますが、大学史編纂に関わる諸機関が共通の資料として活用することを目的に、5月12日付各機関宛に発送し6月末日までの日程で実施いたしました。

アンケートの依頼総数は74校、内51校の回答がよせられました。内訳は、東日本大学史連絡協議会会員校が34校依頼し回答28校、非会員校（含む西日本大学史担当者会会員校）は40校依頼し23校の回答を得ました。

集計は、数値で表される回答は数表にし、文書回答の項目は記入されたまま掲載しました。日本工業大学の松本義男氏が行ったアンケート（本会報No.3に掲載）は別として、東日本大学史連絡協議会がアンケート調査を実施するのは、初めてのことであり、本協議会としても、各大学の大学史を担当している皆様方にも新たな前進の足がかりになることだと思います。

願わくはこのアンケート集計結果を参考にしていただき、大学史編纂等に役立てていただければ幸いに存じます。

以下に集計結果の概要を報告いたします。

【アンケート回答の集計結果について】

1. 担当部署の設置について

資料室又は編纂室の設置年代を見ると1950年代が1校、60年代が7校、70年代11校、80年代14校、90年代3校となっている。

大学史資料室又は編纂室の設置のさきがけは、1950年代～60年代に見られるが、多くの大学は70年代～80年代に大学史編纂等の必要性から設置されてきたのではないかと言える。

その他、企画室等で兼務しているか、未だ設置されていない大学が15校あり、いずれ年史編纂等に伴い資料室等に移行していくことと思われる。また、すでに資料センター、研究センター、記念館が正式に設置されている大学が数校見受けられるとおり、将来はセンターや記念館へと移行する方向となるだろう。その傾向は将来計画の設問の回答にも見られる。

組織上の位置は、法人系が33校で、全体の72%をしめている。

2. 担当部署の人員構成について

2人～3人が多く、内専任が1人～2人の少人数で業務を行っており、補充として嘱託・臨時職員を置いているのが現状と言える。

3. 4については、個別大学の具体例と回答を掲載した。

5. 大学史編纂を目的とした委員会及び 6. その他大学史資料保存等に関わる委員会について

委員会の設置有りの数と委員会の常設、臨時的な数の関係を見ると、委員会の性質の違いを見ることができる。

大学史編纂を目的とした委員会は、有り25校の内常設6校、大学史資料保存等に関わる委員会は、有り12校の内11校が常設となっている。

両委員会が設置されている大学は5校あり、内1校が両委員会常設であり、残りの4校が資料保存等に関わる委員会のみ常設となっている。

現在のところ編纂委員会の方が保存委員会をうわまわっているが、今後は保存等に関わる委員会が重要となっていくことだろう。

両委員会共、委員会の構成は教員系・事務系合同が多数、委員の選出は概ね委嘱及び推薦が多数、手当は無しが多数という結果になっている。

7. 文書保存規程、文書取扱規程について

有りが27校、内訳は保存規程8校、取扱規程17校、文書保存規程・取扱規程1校、その他（管理規程、文書規程）が5校となっている。なお、保存と取扱の両規程有りは、4校となっている。

これらの具体的な内容については今後の調査を待ちたい。

8. 収集資料の整理について

独自の分類及び検討中が多い結果となっているのは、資料が多岐にわたり、未確定の資料が含まれる点など資料を確定することが難しいのが実情と言える。早期に分類の統一を計る必要があると思われるが、大学史にたずさわる者にとって今後の大きな課題となろう。

9. 収集資料の活用について

(1) 年史の刊行は50年史、100年史が多く刊行されている結果が出ている。これは、一般に50年、100年が一つの区切りと考えられるためだと思われる。

100年史の刊行された年代を見ると、1950年代が1校、70年代3校、80年代7校となっているが（不明2校）、全てを刊行するまでに多く年数をかけている特徴がある。

(2) 図録・写真集の発行も年史と同様に100年史が多い。また、最近は視覚にうつたえるとして図録・写真集と年史を加味した傾向が見受けられる。

(3) (4) 資料集の刊行と紀要の発行の両方を行っているのは4校、どちらか一つがそれぞれ7校となっているが、これらの刊行は最近の年史編纂の特徴である。

9(5). 10. 展示会の開催と展示室について

展示会の開催と展示室の有無について見てみると、常設の6校はすべて展示室があり、随時10校については、展示室有り2校（内1校が非公開）、展示室無し7校、回答無し1校となっている。また、展示室有りで展示会の開催無しが5校となっている。常設の展示室を持つ資料館が今後の主流となって行くだろう。

依頼書

1993年5月12日

各 位

東日本大学史連絡協議会
(旧 関東地区大学史連絡協議会)
常任委員会

アンケート調査について（ご依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本協議会では、大学史編纂に関わる諸機関が共通の資料として活用することを目的に、別紙の『「大学史」編纂・資料保存等に関するアンケート』を実施し、その集計結果を本協議会会報『大学アーカイブズ』に掲載することといたしました。

つきましては、別紙アンケートにご回答いただき、6月末日に下記宛にお送りいただきたくお願い申し上げます。

ご多忙のこととは存じますが、アンケート調査によろしくご協力の程お願い申し上げます。

以 上

(問い合わせ先) 神奈川大学資料編纂室

〒221 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

電 話 045-481-5661

アンケート設問事項

大学名

1993.5.12

東日本大学史連絡協議会
(旧 関東地区大学史連絡協議会)
常任委員会

「大学史」編纂・資料保存等に関するアンケート

記入又は、該当するものに○をつけて下さい。

1. 担当部署について

・正式名称()

・組織上の位置(法人系・教学系・その他))

・設置年月日(年 月 日)

・上記以前に担当していた部署があれば記入して下さい。

名称 設置年月日

名称 設置年月日

・現在、他に類似した機関がある場合は記入して下さい。

名称 設置年月日

名称 設置年月日

2. 担当部署の人員構成

(1) 事務職 人(管理職を含む) 内、専任 人 嘱託・臨時 人

(2) 調査研究等を主とする職 人 (3) その他 人(具体例を付記して下さい)

3. 2-(2)、又は2-(3)に該当する場合

(1) 正式名称() (2) 専任、非常勤、嘱託

(3) 所属系列(教員系、事務系) (4) 勤務形態(勤務時間、週当たり勤務日数等)

4. 大学史編纂に伴う業務分掌規程(有・無) 有の場合 名称 制定年月日

5. 大学史編纂を目的とした委員会

(1) 委員会設置(有・無) (2) 委員会の名称 名称

(3) 委員会は常設・定期(一定の目的の期間)設置

(4) 委員会規程(有・無) 有の場合 制定年月日

(5) 委員会の構成

(1) 系列と人員(教員系 人・事務系 人) (2) 選出方法

(3) 手当(有・無)

6. その他大学史資料保存等に関わる委員会

(1) 委員会設置(有・無) (2) 委員会の名称 名称

(3) 委員会は常設・定期(一定の目的の期間)設置

(4) 委員会規程(有・無) 有の場合 制定年月日

(5) 委員会の構成

(1) 系列と人員(教員系 人・事務系 人) (2) 選出方法

(3) 手当(有・無)

7. 文書保存規程、文書取扱規程(有・無) 有の場合 名称 制定年月日

8. 収集資料の整理

(1) 分類の方法

(2) 目録(有・無) 「有」の場合、目録の種類(例 書名目録、件名目録)

9. 収集資料の活用について

(1) 年史の刊行 年史(年刊) 年史(年刊)

年史(年刊) 年史(年刊)

(2) 図録・写真集の発行 年史(年刊) 年史(年刊)

(3) 資料集の刊行 年創刊 現在 号・集(年 回発行)

(4) 紀要の発行 年創刊 現在 号・集(年 回発行)

(5) 展示会の開催 常設・随時 年 回

(6) その他

10. 施設について・専用の事務室(有・無)・収蔵庫(有・無)・展示室(有・無)

11. その他、「大学史」編纂・資料保存等について、これまでの経緯、将来計画等参考事項などがありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

「大学史」編纂・資料保存等に関するアンケート 集計結果

1. 担当部署について

| 大学名 | 正式名称 | 設置年月日 | 左記以前に担当していた部署 | 設置年月日 |
|----------|------------------|------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 同志社大学 | 同志社社史資料室 | 1963.4.1 | | |
| 名城大学 | 名城大学事務局企画課 | 1964.9.9 | | |
| 一橋大学 | 一橋大学学園史資料室 | 1967.4.1 | | |
| 西南学院大学 | 広報・調査課 | 1967.10.1 | 学院史編集室 (※1987.4.1より学院史業務担当) | 1973.4.10 |
| 早稲田大学 | 早稲田大学大学史編集所 | 1969.1 | 校史資料係 校史資料室 | 1961 1963.12.5 |
| 神戸女学院大学 | 神戸女学院史料室 | 1972 | | |
| 梅花女子大学 | 梅花学園総務部資料室 | 1975.9.5 | 「学園月報」編集室 梅花学園史料室 梅花女子大学図書館分室 | 1965.6 1967.6.24 1968.4.1 |
| 玉川大学 | 玉川大学図書館学園史料室 | 1976.6.1 | 玉川学園史(資料)編纂室 学園史料室 | 1976.6.1 1982.4.1 |
| 青山学院大学 | 青山学院資料センター | 1977.7 | 本部企画室 | 1962 |
| 國學院大学 | 校史資料課 | 1978.4.1 | | |
| 関西学院 | 学院史資料室 | 1978.6.1 | | |
| 日本大学 | 日本大学大学史編纂室 | 1978.10.3 | 広報部調査資料課 | 1969.11.21 |
| 松蔭女子学院大学 | 総務課(資料室) | 1980 | | |
| 中央大学 | 中央大学広報部大学史編纂課 | 1980.9.1 | 広報部広報課 | 1976.10.4 |
| 追手門学院大学 | 記念資料室 | 1983.4.1 | | |
| 慶應義塾大学 | 慶應義塾福澤研究センター | 1983.4.1 | 慶應義塾史編纂所 塾監局塾史資料室 | 1951.5.1 1969.4.1 |
| 上智大学 | 総務部広報課史料室 | 1984.3 | 総務部広報課 広報文書部資料課 | 1974 1981 |
| 日本女子大学 | 日本女子大学成瀬記念館 | 1984.10.18 | 校史編纂室 | 1963.5 |
| 東海大学 | 東海大学資料室 | 1985.4.1 | 理事長室資料室 理事長室資料編纂室 | 1973.4.1 1980.7.1 |
| 実践女子大学 | 企画部広報課 | 1986.4.1 | | |
| 東京大学 | 東京大学史史料室 | 1987.4.21 | 東京大学百年史編集室 | 1974.5.21 |
| 明治大学 | 歴史編纂事務室 | 1987.5.1 | 広報課歴史編纂係 | 1963 |
| 成蹊学園 | 成蹊学園総務部学園史料館事務室 | 1987.10.1 | | |
| 法政大学 | 多摩図書館資料課 | 1988.4.1 | | |
| 立教大学 | 図書館大学史資料室 | 1988.4 | 総長室大学資料室 大学資料課 | 1977.4 1986.4 |
| 武藏学園 | 企画室 | 1988.6.1 | | |
| 東京経済大学 | 学長室企画広報課 | 1988.7.1 | | |
| 日本工業大学 | 日本工業大学資料室 | 1988.10.1 | | |
| 神奈川大学 | 大学資料編纂室 | 1989.3.27 | 企画調査部 | 1978.3 |
| 福岡大学 | 福岡大学広報課大学史資料室 | 1989.5.8 | 広報課50年史編纂室 | 1982.10.15 |
| 東京女子大学 | 大学資料室 | 1990.4.1 | 資料室 | 1978 |
| 東洋大学 | 東洋大学井上円了記念学術センター | 1990.4.1 | 東洋大学百年史編纂室 | 1983.4.1 |
| 佛教大学 | 企画部広報調査課 | 1990.4.1 | | |
| 専修大学 | 年史資料室年史資料課 | 1990.5.1 | 年史編纂室 総務部年史資料課 | 1973.4.1 1979.11.1 |
| 東北学院 | 学校法人東北学院広報室 | 1990.6.1 | 100周年記念行事準備事務室 史料室 | 1981.6.1 1989.4.1 |
| 甲南大学 | 甲南学園企画部 | 1990.7.1 | 法人本部 | 1973.1 |
| 国際基督教大学 | 広報課編年史室 | 1991.4.1 | | |
| 津田塾大学 | 学長事務室 | 1991.4.1 | 企画調査室 | 1987.4.1 |
| 立命館大学 | 立命館百年史編纂室 | 1991.4.30 | 立命館史編纂室 | 1981.7.20 |
| 武蔵野美術大学 | 大学史史料室 | 1991.12.2 | 校史編纂室 | 1980.4.1 |
| 国士館大学 | 理事長室広報課 | 1992.2.26 | | |
| 九州大学 | 九州大学大学史料室 | 1992.12.11 | 九州大学75年史編集室 | 1985.5.1 |
| 拓殖大学 | 拓殖大学創立百周年記念事業事務室 | 1993.4.1 | | |
| 龍谷大学 | 大学史誌編纂室 | 1993.4.1 | 350周年記念事業事務局 | 1985.11.20 |
| 愛知大学 | 愛知大学50年史編纂事務室 | 1993.5.1 | 愛知大学50年史編纂資料室 | 1992.10 |
| 大阪女子大学 | 附属図書館 | | | |
| 天理大学 | 入試広報部広報課 | | | |
| 東京農業大学 | | | | |
| 南山大学 | | | | |
| 広島女学院大学 | | | | |
| 松山大学 | | | | |

(注) 現在、他に類似した機関がある大学

| 大学名 | 名称 | 設置年月日 | 大学名 | 名称 | 設置年月日 |
|--------|---------------------|----------|-------|----------|----------|
| 青山学院大学 | 広報室 | | 立教大学 | 学院史編纂室 | 1993.4.1 |
| 東海大学 | 記念事業室 | 1989.7.1 | 佛教大学 | 図書館 | |
| | 東海大学50年史編纂室 | 1989.4.1 | | (資料保存のみ) | |
| | (1991.4.1付記念事業室に移管) | | 国士館大学 | 国士館資料室 | 1988.4 |

組織上の位置

| 法人系 | 教学系 | その他 |
|-----|-----|-----|
| 33 | 5 | 8 |

※その他の内訳 大学附属研究所(1) 事務局系(4) その他の法人(2) 付属機関(1)

2. 担当部署の人員構成

(1) 事務職

| 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人 | 8人 | 9人 | 10人 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 5 | 12 | 8 | 7 | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 |

内、専任 ※他部署との兼務者2校あり

| 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 7人 |
|----|----|----|----|----|----|
| 11 | 9 | 8 | 4 | 4 | 1 |

嘱託・臨時

| 1人 | 2人 | 3人 | 5人 |
|----|----|----|----|
| 10 | 7 | 4 | 2 |

(2) 調査研究等を主とする職

| 1人 | 2人 | 5人 | 10人 |
|----|----|----|-----|
| 3 | 3 | 2 | 1 |

(3) その他

| 1人 | 2人 | 5人 | 10人 | 11人 |
|----|----|----|-----|-----|
| 6 | 4 | 1 | 1 | 1 |

その他の具体例

- ◎アルバイト（含 学生） ◎教員系の館長、主事 ◎協力執筆者（学内外の教員の中から適任者として委嘱した者） ◎学園報編集担当者 ◎室長、副室長（大学教授） ◎編纂協力者 ◎50年史編集委員会 ◎事務職、他との兼務 ◎史料室長（大学教授）・助手（大学教員）

3. 2-(2)、又は2-(3)に該当する場合

(1) 正式名称

- ◎中央大学嘱託 ◎東海大学50年史編集委員会編集員 ◎明治大学百年史編纂委員会 ◎編集員（早稲田大学） ◎講師、助手（九州大学） ◎資料室=2-(2)、文書課=2-(3)（梅花女子大学） ◎広報課大学史資料室（福岡大学） ◎編集委員長、同副委員長（龍谷大学）

(2) 専任、非常勤、嘱託

| 専任 | 8 | 非常勤 | 2 | 嘱託 | 6 |
|-----|---|-----|---|-----|---|
| 教員系 | 4 | 事務系 | 8 | その他 | 1 |

(4) 勤務形態

- | | | | |
|------------|---------------|------------|--------------------------|
| 9:00～16:00 | 週5日（玉川大学） | 1日8時間 | 週4日（中央大学） |
| 週3日（日本大学） | | 9:00～17:00 | 週2日（法政大学） |
| 9:00～16:30 | 週5日（立教大学） | 9:00～17:00 | 嘱託：週6日・隔週、非常勤：週4日（早稲田大学） |
| 1日8時間 | 週5～6日（梅花女子大学） | | |

4. 大学史編纂に伴う業務分掌規程

| 有 | 12 | 無 | 29 |
|--------------------------|------------|---|------------|
| 大学史編集所規程（早稲田大学）1970.4.15 | 専修大学事務分掌規程 | | 1974.10.16 |

日本大学本部事務分掌規程 1979.3.9 中央大学百年史編纂要綱 1982.3.15

事務組織規則（梅花女子大学） 1982.10.21 広報・調査課事務分掌規定（西南学院大学） 1983.6.16

歴史編纂事務室事務分掌規程（明治大学） 1986.12.22 事務分掌規程（法政大学） 1988.4.1

東京女子大学資料委員会規程 1989.4.1 佛教大学事務局事務分掌規程 1990.4.1

立命館百年史編纂委員会規程 1991.11.22

大学史編纂室設置に関する暫定規程（龍谷大学） 1993.4.1

5. 大学史編纂を目的とした委員会

(1) 委員会設置

| | | | |
|---|----|---|----|
| 有 | 25 | 無 | 18 |
|---|----|---|----|

(2) 委員会の名称〔略〕

(3) 委員会は常設・特定期〈一定の目的の期間〉設置

| | | | |
|----|---|-----|----|
| 常設 | 6 | 特定期 | 19 |
|----|---|-----|----|

(4) 委員会規程

有の場合 制定年月日

| | | | |
|---|----|---|----|
| 有 | 12 | 無 | 17 |
|---|----|---|----|

| | | |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 1964. 9. 9 (名城大学) | 1970. 4. 15 (早稲田大学) | 1973. 12. 14 (一橋大学) |
| 1979. 5. 24 (広島女学院大学) | 1981. 2. 26 (甲南大学) | 1982. 3. 15 (中央大学) |
| 1982. 6. 8 (龍谷大学) | 1989. 2. 23 (東京女子大学) | 1991. 1. 31 (武藏学園) |
| 1991. 7. 1 (東洋大学) | 1991. 10. 29 (大阪女子大学) | 1991. 11. 22 (立命館大学) |

(5) 委員会の構成

① 系列と人員 ※教員系のみ4校、教員系・事務系合同21校

教員系

| | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 4人 | 3 | 5人 | 6 | 7人 | 3 | 8人 | 2 | 9人 | 1 | 10人 | 2 |
| 12人 | 1 | 13人 | 2 | 14人 | 2 | 15人 | 1 | 21人 | 1 | 22人 | 1 |

事務系

| | | | | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|-----|---|----|---|
| 1人 | 2 | 2人 | 4 | 3人 | 2 | 4人 | 3 | 5人 | 3 |
| 6人 | 2 | 7人 | 2 | 9人 | 1 | 10人 | 2 | | |

② 選出方法

- ◎各教授会より選出（愛知大学） ◎学長が委嘱（神奈川大学）
- ◎編纂委員会で編集委員を決める（国際基督教大学） ◎各学部長などの推薦（国士館大学）
- ◎理事長任命（上智大学） ◎任命（拓殖大学） ◎法人委嘱（中央大学）
- ◎史学、科学史を専門とする教員（東海大学） ◎上部委員会において人選（東京農業大学）
- ◎学部長、関係団体の長の推薦により理事長が委嘱（東洋大学） ◎各学部推薦（日本大学）
- ◎学園長の委嘱（武藏学園） ◎総長の任命（明治大学） ◎適任者を委嘱する（立教大学）
- ◎各学部より推薦、総長の指名、所長の推薦（早稲田大学） ◎各学科より選出（大阪女子大学）
- ◎委嘱（関西学院） ◎職制によるものと関係なしがある（甲南大学）
- ◎学長指名（東京女子大学） ◎総長から委嘱（同志社大学）
- ◎教員は各校からの選出の上、事務系職員と共に任命（梅花女子大学）
- ◎各部所2名、図書館長（一橋大学） ◎各校部管理者の推薦による（広島女学院大学）
- ◎学長一任（佛教大学） ◎規程による役職上の委員と総長委嘱（立命館大学）
- ◎刊行委員会は学長推薦、学部長推薦、役職選出 編集委員会は刊行委員会（龍谷大学）

③ 手当

| | | | |
|---|---|---|----|
| 有 | 5 | 無 | 22 |
|---|---|---|----|

6. その他大学資料保存に関わる委員会

(1) 委員会設置

| | | | |
|---|----|---|----|
| 有 | 12 | 無 | 33 |
|---|----|---|----|

(2) 委員会の名称

中央大学史料委員会

成瀬記念館運営委員会（日本女子大学）

法政大学史料委員会

大学史史料委員会（武藏野美術大学）

資料センター運営委員会（青山学院）

学院史資料室運営委員会（関西学院）

九州大学史料収集保存に関する委員会

神戸女学院史料室専門委員会

学園史資料室委員会（甲南大学）

東京大学史料の保存に関する委員会

沢山保羅研究会・梅花学園学園史研究会

広島女学院歴史資料館管理運営委員会

(3) 委員会は常設・特定期〈一定の目的の期間〉設置

| | | | |
|----|----|-----|---|
| 常設 | 11 | 特定期 | 0 |
|----|----|-----|---|

(4) 委員会規程

| | | | |
|---|----|---|---|
| 有 | 11 | 無 | 1 |
|---|----|---|---|

有の場合 制定年月日

1969. 4. 1・1979.3.10 (梅花女子大学) 1976.10. 4 (中央大学) 1979. 9.13 (関西学院)
 1981. 2.26 (甲南大学) 1986.10.14 (東京大学) 1989. 4. 1 (法政大学)
 1989. 7. 3 (神戸女学院大学) 1989.10 (日本女子大学) 1990. 1.26 (広島女学院大学)
 1992. 1.24 (九州大学) 1993. 2 (青山学院)

(5) 委員会の構成

① 系列と人員 ※教員系のみ 1校、教員系・事務系合同 11校

教員系

| | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|---|
| 4人 | 3 | 5人 | 2 | 6人 | 1 | 8人 | 1 | 9人 | 1 |
| 15人 | 1 | 24人 | 1 | 26人 | 1 | 29人 | 1 | | |

事務系

| | | | | | |
|----|---|----|---|-----|---|
| 1人 | 3 | 2人 | 1 | 3人 | 3 |
| 5人 | 2 | 6人 | 1 | 10人 | 1 |

② 選出方法

- ◎各学部長などの推薦（国士館大学） ◎法人委嘱（中央大学） ◎内規による（日本女子大学）
- ◎大学史に關係ある専任教員のなかから任命（法政大学） ◎理事長委嘱（武蔵野美術大学）
- ◎大学から幼稚園の各部より（青山学院） ◎役職・室長推薦（関西学院）
- ◎各学部等から選出（九州大学） ◎院長の委嘱（神戸女学院大学）
- ◎職制によるものと關係なしがある（甲南大学） ◎各部局より1名、研究所より2名、図書館長、総長補佐、総長が必要とした者、事務局長（東京大学） ◎個人申請（梅花女子大学）

③ 手当

| | | | |
|---|---|---|----|
| 有 | 1 | 無 | 11 |
|---|---|---|----|

7. 文書保存規程、文書取扱規程

| | | | |
|---|----|---|----|
| 有 | 27 | 無 | 17 |
|---|----|---|----|

有の場合 名称・制定年月日

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| 文書取扱規程（愛知大学）1948.10. 1 | 文書取扱規程（東京女子大学） 1959. 4 |
| 実践女子学園文書等取扱規定 1963.12. 1 | 文書規程（日本女子大学） 1968.12. 1 |
| 文書規程（上智大学） 1971. | 学校法人名城大学文書処理規程 1971. 4. 1 |
| 文書取扱規程（日本大学）1973. 5.18 | 文書保存規程（日本大学） 1973.11.16 |
| 文書保存規程（法政大学）1975. 2. 1 | 文書取扱規則（武蔵野美術大学）1975. 4. 1 |
| 文書取扱規程（法政大学）1977. 4. 1 | 事務局文書管理規則（東京大学）1980. 5. 6 |
| 文書取扱規程（関西学院）1980. 6.12 | 日本工業大学文書取扱規程 1980.11.11 |
| 文書取扱規程（松蔭女子学院大学）1984. 4. 1 | 大阪女子大学文書管理規程 1984. 9.20 |
| 中央大学文書保存規程 1986. 4. 1 | 中央大学文書取扱規則 1986. 4. 1 |
| 学校法人福岡大学文書保存規程 1986. 5.30 | 事務局文書保存規程（國學院大学）1986. 7.10 |
| 文書取扱規程（梅花女子大学） 1987. 1.31 | 成蹊学園文書取扱規則 1990. 4. 1 |
| 同志社大学文書取扱基準 1990. 4. 1 | 学校法人専修大学文書保存規程 1990. 8. 3 |
| 慶應義塾文書保存規程 1991. 4.26 | 諸規程の管理規程（東京経済大学）1991.10. 1 |
| 文書保存基準（追手門学院大学）1992. 3.12 | 西南学院文書取扱規程・文書保存規程 1992. 3.13 |
| 学校法人専修大学文書取扱規程 1992. 4. 1 | 学校法人東京農業大学文書取扱規程 1992. 4. 1 |
| 文書取扱規程（立命館大学）1993. 4.23 | |

8. 収集資料の整理

(1) 分類の方法

| | | | |
|----------|----|-----|----|
| 独自の分類による | 20 | 適宜 | 2 |
| N D C | 4 | 検討中 | 12 |

(2) 目録

| | | | |
|---|----|---|----|
| 有 | 19 | 無 | 23 |
|---|----|---|----|

| | | | | | |
|----------|---|-----------|---|--------|---|
| 書名目録 | 8 | 件名目録 | 6 | 著者名目録 | 2 |
| 分類目録 | 2 | 形態別目録 | 2 | 寄贈者別目録 | 1 |
| 受入台帳・仮目録 | 1 | コンピュータによる | 1 | 書架目録 | 1 |

9. 収集資料の活用について

(1) 年史の刊行 ※年史を刊行した数 40校

| | | | | | | | |
|-------|----|-------|---|-------|---|-------|----|
| 6年史 | 1 | 10年史 | 2 | 15年史 | 1 | 20年史 | 5 |
| 25年史 | 3 | 30年史 | 4 | 35年史 | 1 | 40年史 | 5 |
| 50年史 | 18 | 60年史 | 7 | 70年史 | 6 | 75年史 | 3 |
| 80年史 | 6 | 85年史 | 3 | 90年史 | 4 | 100年史 | 13 |
| 110年史 | 1 | 300年史 | 1 | 350年史 | 1 | | |

(2) 図録・写真集の発行 ※図録・写真集を発行した数 23校

| | | | | | | | |
|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| 30年史 | 1 | 40年史 | 1 | 50年史 | 4 | 60年史 | 1 |
| 70年史 | 2 | 75年史 | 1 | 80年史 | 3 | 90年史 | 4 |
| 100年史 | 9 | 105年史 | 1 | 110年史 | 1 | 125年史 | 1 |
| 350年史 | 1 | | | | | | |

(3) 資料集の刊行 ※資料集を刊行している数 11校

創刊年内訳

| | | | | | | | |
|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| 1967年 | 1 | 1975年 | 1 | 1978年 | 1 | 1980年 | 1 |
| 1982年 | 1 | 1984年 | 2 | 1985年 | 2 | 1992年 | 1 |
| 1993年 | 1 | | | | | | |

年・発行回数 1回 7 3回 1

(4) 紀要の発行 ※紀要を発行している数 11校

創刊年内訳

| | | | | | | | |
|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|
| 1965年 | 1 | 1970年 | 1 | 1978年 | 1 | 1980年 | 1 |
| 1981年 | 2 | 1983年 | 1 | 1984年 | 1 | 1989年 | 1 |
| 1991年 | 1 | 1992年 | 1 | | | | |

年・発行回数 1回 8 2回 1 4回 1

(5) 展示会の開催 常設 6 隨時 10

(6) その他

- ◎研究等学界とタイアップした企画もある(國學院大学) ◎津田梅子文書(津田塾大学80周年記念)
- ◎タイムトラベル中大百年(『学員時報』連載) ◎中央大学百年史編集ニュース
- ◎展示会は写真を中心として創立記念日に行う(東海大学)
- ◎紀要に準じた年間の報告書、展示の記録、講演の記録の3種発行(日本女子大学)
- ◎大学史料室ニュースを発行(九州大学) ◎名城大学小史を発行

10. 施設について

専用の事務室

収蔵庫

展示室

| | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|---|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 有 | 40 | 無 | 8 | 有 | 32 | 無 | 15 | 有 | 13 | 無 | 32 |
|---|----|---|---|---|----|---|----|---|----|---|----|

11. 将来計画等参考事項

- (1) 100年史等の年史刊行を予定している……… 9校
- (2) 資料館・記念館等の施設を建設予定している… 5校
- (3) 資料の保存等・業務のOA化を予定している… 2校
- (4) 将来に向け規程の整備・資料の収集・整理・保存・利用等を検討している… 7校

以上

東日本大学史連絡協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、東日本大学史連絡協議会と称する。

(事務局)

第2条 この協議会の事務局は、役員校の互選により選出された大学におく。

(目的)

第3条 この協議会は東日本に所在する大学の大学史編纂及び資料保存利用等に関する共通の諸問題を協議し、情報交換をすすめ、会員相互の交流をはかることを目的とする。

(事業)

第4条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1)大学史編纂上の実務に関する情報交換
- (2)収集資料の保存利用に関する研究
- (3)研修会（研究会）、講演会の開催
- (4)会報の発行
- (5)その他、本会の目的達成に必要な事項

(会員)

第5条 会員は、この規約の趣旨に賛同する大学をもって構成する。

2. 個人入会者については別に定める。

(入・退会)

第6条 入会は、所定の入会申込書を会長校に提出し、常任委員会の議を経て入会を承認される。

2. 退会は、書面により会長校に届出て退会することができる。

(役員)

第7条 協議会に次の役員をおく。

- (1)会長校 1 校
 - (2)副会長校 2 校
 - (3)常任委員校若干
 - (4)会計委員校 2 校
 - (5)監査委員校 2 校
2. 会に顧問をおくことができる。

(役員の職務)

第8条 会長校は、会を代表し会務を掌握する。

2. 副会長校は、会長校を補佐し会長校支障あるときはその職務を代行する。

3. 常任委員校は、会の運営につき審議執行する。

4. 会計委員校は、会の会計を担当する。

5. 監査委員校は、会の経理を監査する。

(役員の選出及び任期)

第9条 役員は総会で選出し、任期を 1 年とする。但し再任は妨げない。

2. 顧問の推戴は、総会において行う。

(会議)

第10条 本会に次の会議をおく。

(1)総会

(2)常任委員会

(3)部会

(総会)

第11条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2. 通常総会は、年 1 回（5 月）開催する。

3. 臨時総会は、常任委員会が必要と認めたとき、もしくは、会員校の三分の一以上の要求があったときに開催する。

4. 総会は会長校が召集し、議長は会員校中から選出する。

5. 総会は、会員校三分の二以上の出席をもって成立し、出席校の過半数をもつて決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

なお、欠席届をもって委任状とみなすことができる。但し、その場合、議決権は認めない。

6. 総会は、次の事項を審議する。

(1)事業計画及び事業報告

(2)予算及び決算

(3)その他重要な事項

(常任委員会)

第12条 常任委員会は会長校が召集し、この会の常務について審議する。

2. 議長は委員中から選出し、議決は、三分の二以上を要する。

3. 常任委員会の構成は、会長校、副会長校、常任委員校、会計委員校とし、監査委員校は、出席して意見を述べることができる。

(部会)

第13条 第 4 条の事業を行うため、必要に応じて部会を設けることができる。

2. 部会については、別に定める。
 (経費) (会計)
- 第14条 この会の経費は、会費及びその他の収入をもってあてる。
2. 会費は、1会員校につき年額20,000円とする。
3. 会費は、毎年5月末日までに、その年度分を納入しなければならない。
 年度途中において加入した会員は、その1カ月後までに納入することとする。納入された会費は返戻しない。
 (事業年度及び会計年度)
- 第15条 この会の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日から翌年3月末日までとする。
 (決算報告)
- 第16条 本会の決算報告は、監査委員校の監

査を得てその証明書を添付し通常総会に報告する。

(規約の変更)

第17条 この規約は、総会において会員校過半数の支持がなければ変更することができない。

付 則

- 1 本規約の実施に必要な細則は、常任委員会の議を経て定める。
- 2 この規約は昭和63年6月7日から施行する。
- 3 この規約は1989年5月8日から施行する。
- 4 この規約は1993年5月11日から施行する。

〔※今回の規約の改正は会員構成メンバーの拡大による地区名称の変更と役職の集中・重圧をできるだけ避けることを目的に実施されたものである。(常任委員会)〕

- 東日本大学史連絡協議会会員名簿**
 (1993年5月20日現在)
- (会員校・担当部署)
- 愛知大学・愛知大学50年史編纂事務室
 〒441 豊橋市町畠町1-1
 (☎0532-47-4138)
- 神奈川大学・大学資料編纂室
 〒221 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 (☎045-481-5661)
- 関東学院・総務部学院史資料室
 〒236 横浜市金沢区六浦町4834-1
 (☎045-786-7049)
- 慶應義塾・福澤研究センター
 〒108 港区三田2-15-45
 (☎03-3453-4511)
- 國學院大学・校史資料課
 〒150 渋谷区東4-10-28
 (☎03-5466-0104)
- 国際基督教大学・広報課 総務課
 〒181 三鷹市大沢3-10-2
 (☎0422-33-3057)
- 国士館大学・理事長室広報課
 〒154 世田谷区世田谷4-28-1
 (☎03-5481-3118)
- 実践女子大学・企画部広報課
 〒191 日野市大坂上4-1-1
 (☎0425-85-0303)

上智大学・史料室

〒102 千代田区紀尾井町7-1
 (☎03-3238-3294)

成蹊学園・総務部学園史料館事務室

〒180 武藏野市吉祥寺北町3-3-1
 (☎0422-37-3517)

専修大学・年史資料室年史資料課

〒101 千代田区神田神保町3-8
 (☎03-3265-6211)

拓殖大学・企画部創立百周年記念事務室

〒112 文京区小日向3-4-14
 (☎03-3947-2261)

玉川大学・図書館学園史料室

〒194 町田市玉川学園6-1-1
 (☎0427-39-8643)

大乘淑徳学園・淑徳百年史編集事務局

〒174 板橋区前野町5-5-2
 (☎03-5392-8888)

中央大学・広報部大学史編纂課

〒192-03 八王子市東中野742-1
 (☎0426-74-2132)

津田塾大学・学長事務室

〒187 小平市津田町2-1-1
 (☎0423-42-5113)

東海大学・資料室

〒151 渋谷区富ヶ谷2-28
 (☎03-3467-2211)

東京基督教大学・歴史資料保存委員会
〒270-13 印旛郡印西町内野3-301-5-1
(☎0476-46-1131)

東京経済大学・学長室
〒185 国分寺市南町1-7
(☎0423-21-1941)

東京女子医科大学・大学史料室
〒162 新宿区河田町8-1
(☎03-3353-8111)

東京農業大学・図書館
〒156 世田谷区桜ヶ丘1-1-1
(☎03-5477-2525)

東北学院・広報室
〒980 仙台市青葉区土樋1-3-1
(☎022-264-6470)

東洋大学・井上円了記念学術センター
〒112 文京区白山5-28-20
(☎03-3945-7555)

獨協学園・百年史編纂室
〒340 草加市学園町1-1
(☎0489-42-1111)

日本工業大学・総務課
〒345 南埼玉郡宮代町学園台4-1-1
(☎0480-34-4111)

日本女子大学・成瀬記念館
〒112 文京区目白台2-8-1
(☎03-3942-6187)

日本大学・大学史編纂室
〒102 千代田区九段南4-8-24
(☎03-5275-8136)

法政大学・多摩図書館資料課
〒194-02 町田市相原町4342
(☎0427-83-2281)

武蔵学園・企画室
〒176 練馬区豊玉上1-26-1
(☎03-3991-1191)

武蔵野美術大学・大学史史料室
〒187 小平市小川町1-736
(☎0423-41-5011)

明治大学・歴史編纂事務室
〒101 千代田区神田駿河台1-1
(☎03-3296-4085~6)

立教大学・図書館大学史資料室
〒171 豊島区西池袋3丁目
(☎03-3985-2693)

立正大学学園・企画広報室
〒141 品川区大崎4-2-16
(☎03-3492-5165)

早稲田大学・大学史編集所
〒169-50 新宿区西早稲田1-6-1
(☎03-3203-4141)

三二情報

※『武藏七十年史—写真でつづる 学園のあゆみー』の刊行について

本学園は、学園創立70周年記念事業の一環として『武藏七十年史—写真でつづる学園のあゆみー』(A4判、280頁)を刊行した。

これは、学園100年史の刊行を長期的視野にいれて編纂されたもので、ヴィジュアル形式の年史としては初めてのものである。

(武藏学園企画室)

※名古屋大学史関係の刊行物

『名古屋大学五十年史』(部局史一・二、1989年10月)、『写真集 名古屋大学の歴史1871~1991』(1991年12月)、『名古屋大学史紀要』第1号(1989年9月、名古屋大学史編集室発行)の3点はすでにこの欄で紹介し、その後、『名古屋大学史紀要』第2号(1991年4月)、第3号(1992年9月)を発行しました。第2号には、明治初期のお雇い外国人教師ローレツに関する論文2編、名古屋帝国大学設立事情に関する論文、および愛知(県)医学校・病院刊『院校報告』に関する史料解題等を掲載。第3号には、お雇い外国人教師ローレツに関する論文、名古屋大学における外国人留学生受け入れの歴史に関する論文、および名古屋大学の源流である仮病院・仮医学校の設立時期を再検討した研究ノート等を掲載。

(名古屋大学史編集室)

※ICU50年史編纂資料室の活動

ICU50年史編纂資料室では、創立以来、約半世紀になるので、開室時当初から、創立にかかわった生存者、および、近隣の方たちなどの聞き書きを取り、小冊子にまとめている。例えば、『ICU草創期のことども』、『研究所時代について』、『ICUと私』など、「インタビューによるICUの歴史探訪・シリーズ」である。今年は、卒業生たちがICUを訪れるHome-Comingの第二回の集いがおこなわれたので、その際に、50年史編纂

に参考になるような設問を設けたアンケートを配布、回収した。

※『中央大学百年史編集ニュース』

第20号 1993年7月刊行

1992年12月から1993年4月までの収集史料を紹介。あわせて、前号に掲載できなかった史料紹介も収録。

『中央大学史紀要』第5号と『中央大学史資料集』第12集は、1993年度刊行予定。

(中央大学広報部大学史編纂課)

※『東洋大学百年史』部局史編の刊行

暫く間隔が空いていた東洋大学百年史(全6巻)のうち部局史編が刊行され、計3巻となった。構成は第一部が新制大学学部、大学院、短期大学、第二部は附属図書館、附置研究所、事務局、附属学校、父兄会からなり、新制発足の昭和24年から昭和62年までが記述されている。東洋大学創立百年史編纂委員会、東洋大学井上円了記念学術センター編、1993年5月、1059頁。(紹介は本会報編集担当者)

ご案内

○1993年度合同研究部会日程表

10月6日(水) 会場・明治大学創立百周年記念
大学会館

- ・講演 中村雄二郎氏(明治大学法学部教授、明治大学歴史編纂委員会委員長)
「近代史としての大学史」

・展示見学

10月7日(木) 会場・中央大学駿河台記念館

- ・講演 寺崎昌男氏(立教大学文学部教授)
「大学史と大学史編纂を語る」

・パネルディスカッション

10月8日(金) 江戸東京博物館の見学

○本会は、5月11日から「東日本大学史連絡協議会」と名称を変更いたしました。本協議会への入会、お問い合わせは下記事務局まで。

〈事務局〉中央大学広報部大学史編纂課

〒192-03 東京都八王子市東中野742-1

☎ 0426-74-2132

<会報編集担当>

神奈川大学大学資料編纂室

〒221 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 ☎045-481-5661

東海大学資料室

〒151 渋谷区富ヶ谷2-28-4 ☎03-3467-2211

中野 実(立教学院史編纂室)

〒171 豊島区西池袋3-34-1 ☎03-3985-4638